

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2017-164151 (P2017-164151A)

【公開日】平成 29 年 9 月 21 日 (2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報 2017-036

【出願番号】特願 2016-50751 (P2016-50751)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 25 日 (2019.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

後方からの光を前方に透過する透過性を有し、画像を表示する画像表示部材と、  
 前記画像表示部材の後方に位置し、光源を点灯して前記画像表示部材を後方から照明する点灯状態と、前記光源を消灯するもしくは点灯状態よりも暗く前記画像表示部材を照明する消灯状態とを、電氣的に切り換える照明部材と、  
 前記画像表示部材の後方に位置し、後方を視認可能にする視認可能状態と、前記視認可能状態よりも後方を視認困難な状態にする視認困難状態とを、電氣的に切り換える透過部材と、  
 前記照明部材および前記透過部材よりも後方に位置する透過表示される対象と、  
 前記透過部材が視認可能状態の期間に、  
 前記照明部材を点灯状態とし、前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも一部の領域を非透過状態とする非透過状態制御と、  
 前記照明部材を消灯状態とし、前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも前記透過表示される対象が後方に位置する領域を、視認可能な状態にする透過状態制御と、  
前記非透過状態制御と前記透過状態制御を切り換える制御切換手段と、  
 を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機において、  
 前記照明部材を消灯状態とし、前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも前記透過表示される対象が後方に位置する領域に、透過可能な透過画像を表示する前記透過状態制御と、  
 を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の遊技機において、  
 前記非透過状態制御では、前記透過表示される対象を見せる領域に非透過画像を表示する一方で、  
前記透過状態制御では、前記透過表示される対象を見せる領域に透過画像を表示することを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機において、  
前記非透過状態制御と前記透過状態制御を交互に切り換える前記制御切換手段、  
を備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の遊技機は、

後方からの光を前方に透過する透過性を有し、画像を表示する画像表示部材と、

前記画像表示部材の後方に位置し、光源を点灯して前記画像表示部材を後方から照明する点灯状態と、前記光源を消灯するもしくは点灯状態よりも暗く前記画像表示部材を照明する消灯状態とを、電氣的に切り換える照明部材と、

前記画像表示部材の後方に位置し、後方を視認可能にする視認可能状態と、前記視認可能状態よりも後方を視認困難な状態にする視認困難状態とを、電氣的に切り換える透過部材と、

前記照明部材および前記透過部材よりも後方に位置する透過表示される対象と、

前記透過部材が視認可能状態の期間に、

前記照明部材を点灯状態とし、前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも一部の領域を非透過状態とする非透過状態制御と、

前記照明部材を消灯状態とし、前記画像表示部材の画像表示領域のうち少なくとも前記透過表示される対象が後方に位置する領域を、視認可能な状態にする透過状態制御と、

前記非透過状態制御と前記透過状態制御を切り換える制御切換手段と、

を備えることを特徴とする遊技機である。